

【題材名】 オンライン生徒総会

【内容】 感染症対策をしながら、生徒の充実した活動を保証する。

【使用アプリ】 クラスルーム、ミーティング、スライド、フォーム

【事例紹介】

7月に実施した生徒総会の様子である。本来なら体育館で集会を行い、生徒会スローガンや、提案事項などを話し合う予定であったが、全校生徒が集まっての集会活動を行うことはできなかった。しかし、ICT機器を活用し、工夫することで例年以上の充実した活動になった。

オンラインでも臨場感のある集会活動

下の写真は、各教室と生徒会室をオンラインでつないでいる様子である。生徒会役員の尽力により、配信元の背景などが工夫され、臨場感のある集会活動ができた。各教室の生徒は真剣に画面を見つめ、生徒会役員の話や提案事項の発表に耳を傾けていた。全校生徒が体育館に集合していなくても、各教室から廊下に響くあいさつの声や拍手の音に温かい雰囲気を感じた。



【自教室で配信を見る生徒たち】



【生徒会室からの配信を行う様子】

オンラインならではの良さ

オンラインで生徒総会を行ったことによるメリットもあった。各学級からの提案事項は、Google スライドを用いて要点が視覚的にまとめられたり、提案理由などを動画やアニメーションを使って説明したりしていた。放課後に残って発表の準備をしている生徒たちの様子を見ると、どうすれば興味を持ってもらえるか意見を出し合っていて楽しそうに資料の作成をしていた。

また、スローガンを決定する投票の際には、Google フォームを使って投票や集計を行った。12月に行った生徒会役員を決定する後期生徒総会でも、フォームを使った投票を行うことで、正確に素早く投票結果を知ることができた。

(教育委員会主幹講評) コロナ禍で様々な集会活動が制限される中、それぞれの学校でICTを活用した新たな取組が報告されています。今回の川之江北中学校の報告もその一つです。Google スライドを使用している提案理由の説明や、Google フォームでの電子投票などICTの利点を生かした素晴らしい取組が行われたのが伝わってきます。新たな取組で、生徒たちにも新たなスキルが身に付いたと思います。